

「学校教育目標」

個々の児童生徒に応じた教育を行い、積極的に社会生活に参加できる人間を育成する。



わかやま大学

ふそく

とくべつ支援学校

W F T



WISH

「夢と希望をもち心豊かに生きる力」

人やもの、ことに「あこがれ」や「希望」、
「将来の夢」をもつとともに自分の現在地を識り、
見通しをもって次のステップへ上りたい、**自分の将来に希望をもち自己有用感を高めることは、「自立」する上で大切なことである**と思います。
自立には「自分を識ること、サポートを求めること、自尊心高めること」が必要です。児童生徒たちが、自分の得意なことを認知し発揮できるような環境整理のもと、楽しく生活することを願います。自己有用感を引き出し、見える化し、「**がんばりたい・楽しみたい**」という意欲を引き出す支援が必要であり我々教員の役割でもあります。「できる」「できた」の成功体験を強化して褒め、自尊心を高めることを目標にしています。

FELLOW

「なかまと共に・人と一緒に」

学校卒業後社会に出てよりよく生活し就労するためには、他者との関わりが不可欠です。児童生徒は年齢相応の生活経験を有し、個々に有するコミュニケーション力で対人相互関係を築きます。**なかまとの関わりや思いやりの気持ちを少しずつ獲得し社会とのつながりや人との共感につなげていきます。**自分なりに工夫してうまくいった経験、人に相談して助けてもらってうまくいった経験があります。児童期は先生や友だちの助けをうけ、見てまねて成功体験を貯金しますが、思春期以降は自分に必要なサポートの内容や求める場面、求める人や求め方を考え判断し自主的に求める力が必要です。「人と一緒に」共感し、**自立と社会参加する力を培うことが目標です。**

TRY

「挑戦する・自ら行い自己決定」

自ら考え自ら行動し自己決定する力は社会の中で生きていく上で大切です。ありのままの自分を受け入れ、人の力を借り、自分に必要な（可能な）次のステップを受容し「挑戦する」「判断する」**自分づくりの力は個々によって異なり、チャレンジの内容・方法も異なります。**得意なこと、興味のあることを識り、**挑戦する気持ち、意欲や勇氣は自信から育まれ、自立することにつながります。**学校、地域社会、そして職業生活に必要な意欲や態度を培い人間関係を豊かにし、**責任感をもって主体的に豊かで生きがいのある生活を培う力を目標にします**